

12-4right

三日辰 晴

義雄許(もと)へ親友三名賀品二万携へ来る、酒飯を設(ま\*o)く不面(?)

四日巳 晴漸薄晴

義雄許へ来客四名あり酒□之設□し、横地六より金糖牛皮糕十六卷(◎)賀贈せらる、隠

居久持来、□□□□へ菖蒲艾艸等挟む(◎)

五日午 雨意漸に薄陰

□司方より当□賀□糕一□を贈らる、同人へ十円、隠居久へ千疋、八蔵へ五百疋□□一介

添、叔母へ五円□□出□婚

姻取結に付、彼是周旋手数で謝を遣し、□叔母今日東京出立に付、駿府山本

□□へ富沢書状□□

永持へ雁書届方、並先出府中手数懸けし謝品鯉三方□□□□方を託す、十右衛門右

12-4left

叔母随従帰府いたし候に付、手当二方手拭等遣す、□四□宗福寺へ去趣(◎)中元歳暮の□品

□方を托す、常司方より小鯛一尾贈らる

六日未 陰漸薄陰

牧田縁組願(◎)□振合山中仁より心得のため届越す、義雄本日出府登途に付、前書の面写し

駿府□方叔母へ一書添届様義雄へ托し遣す、横地六方へ出□中の謝品博多男帯一筋(すじ)、

銚子縮(ちぢみ)一反

持来上牧田よりの謝品をも営(いとなみ)て行き主人病□に付、隠居久に面して□る

七日申 雨朝止午前より稍(ようやく)晴

村方へ夫食御用其方の儀、常司来り頼む、即時諾し例遣す、入□同人数蔵同常路□持来

八日酉 薄陰

\*o:設(ま)く、あらかじめ準備する

□印は解読未了の文字です。悲しいかな私の実力ではすぐ解読はできません。